

Radio On The Street
西谷文和



2023.4.18
第16号

発行責任者：西谷文和

連絡先：〒564-0041 大阪府吹田市泉町1-22-33

TEL 06-6170-4757

メール otayori@radiostreet.net

このニュースは募金いただいた方、講演会に参加された方に郵送
しています。今後も年に4回程度発行します。

●ラジオの聞き方

スマホやパソコンで「路上のラジオ」と検索して
ください。YouTubeで聞けます。
チャンネル登録していただきますと、毎回お知らせ
が来るので便利です。



国と東電が廃炉作業を進めているはずなのだが…

水素爆発は人為的ミス？

「1号機の水素爆発は東電が誤つ

路上のラジオ第124回目は、ゲストに原子核工学研究者の森重晴雄
さん、そしておなじみ元京都大学原子炉実験所助教の小出裕章さんのダ
ブルゲストで放送しました。テーマは「311から12年、原発の中と外
から脱原発を訴える」。実は森重さんはかつて三菱重工に勤務され、四
国の伊方原発3号機の建設責任者でした。小出さんは伊方原発差し止め
裁判で、その危険性を訴えて来られました。いわば「中と外」から福島
事故について、そして狂気とも言える再稼働、60年超の運転継続につい
て存分に語っていただきました。

て電流を通してしまったから」。ま
ず森重さんの指摘にビックリ。12年
前のあの爆発、私は「水素が溜まっ
て自然爆発したのかな」と思い込ん
でいたが、「とにかく電源を復旧し
たい」と焦る現場が、絶縁チェック
をせずに電気を流してしまったから
だ、との指摘。「あの時は現場はパ
ニックになっていたのです。混乱状
態の中でミスが出たんだと思いま
す」。小出さんの解説に対して、「本
当に辛い状況だった、しかし50人ほ
どいた作業員の誰もそれに気がつか
なかつたのか」と森重さん。非常用
電源が地下にあり津波で水没して使
えなかつたことについて尋ねると、
「全くのミスです。そもそも1号機

福島1号機の原子炉は震度6で倒壊？ 311から12年、恐怖のシナリオを回避せよ

は米国GE社からのターンキー契約。
東電はGEに建ててもらって、それ
を動かしてただけ」と小出さん。
鍵だけもらって(ターンキー)、十
分な知識もノウハウもなく危険な原
発を動かしていた東電、事故は起こ
るべくして起こつたとも言える。次
に60年を超える老朽化した原発を動
かすという暴挙について尋ねる。

プルサーマルでもつと危険に

「高い放射線に晒される原子炉は、
もともと『60年くらいで寿命が来る
だろう』と考えられていた。でも途
中でMOX燃料を使い始めた。当初
の想定よりさらに原子炉は脆弱化し
てますよ」。森重さんの指摘を受け
て「MOX燃料はウランとプルトニ
ウムを混ぜたものです。プルトニウ
ムはウランよりもたくさんの中性子
を放出します。中性子が鋼鉄の圧力
容器に当たれば脆弱化し、どんどん
劣化します。国は危険性の議論をす
つ飛ばして、とにかく儲かればいい
と少しでも長く運転させたいので
す」。小出さんの解説に背筋が凍る。

60年超の運転計画は原子力規制委員で決まった。5名の委員の内、4対1の多数決で。これは地動説と天動説を多数決で決めるようなもの。ガリレオではないが「それでも地球は回っている」し、「それでも原発は危険」なのだ。

配管やケーブルも劣化している

原発内部では無数のケーブルや配管がのたうちまわっている。「04年に美浜3号機で2次系の配管が破裂して作業員5名が亡くなるという痛ましい事件がありました。関電は1度も配管のチェックをしていなかった。すべての原発の、すべての配管をチェックするのは無理。長く運転すればそれだけ危険です」。小出さんは警鐘を鳴らし続けているが、国はずっと無視をしている。

台座(ペDESTAL)が壊れて原子炉が傾いている

さらに1号機について森重さんに尋ねる。「溶け落ちた燃料デブリがペDESTALという台座を破壊しています。原子炉は台座の上に乗っています。これが傾いた状態。だから震度6強の地震が来たら倒れます」。恐ろしいことを淡々と語る森重さん。原子炉は1500トンくらいあって、地震で倒れたら格納容器を突き破る

可能性がある。そうなれば容器の底に溜まった粉塵がブアッと吹き出てしまうかも。ちょうど焚き火に水をかけた後のように。「そうなれば東北には住めなくなる？」慌てて尋ね

イラク戦争20年を振り返る

有給休暇でバグダッドへ

イラク戦争から20年が過ぎた。戦争開始時、私はまだ大阪の吹田市役所職員で、有給休暇でバグダッドに飛んだ。アメリカのトマホークミサイルで破壊された陸軍、空軍、サダムタワーなどを取材した。空爆されなかつたのは石油省だけだった。

「やはり石油か」と思った。この時に撮影した映像や写真はテレビ番組で放映され、地元吹田の公民館などで写真展も開催した。この時はみんな「あなたが現地に行ってくれるから実情を知ることができた、ありがとう」という反応だった。

激戦地ファルージャで

1年後の04年4月5日、やはり休暇を取ってバグダッドに入った。ヨルダンのアンマンから国道をぶつ飛ばす。途中のユーフラテス川、ファルージャに入る。バリバリバリ、攻

る私に「首都圏もダメでしょうね」。おいおい、早くなんとかしてくれよ！こんな時に専門家の意見も聞かず、次世代型原発の建設、老朽化原発を際限なく動かそうとしている

撃用アパッチヘリが地面スレスレでやってくる。国道沿いには米兵と後ろ手に縛り上げられたイラク親父たち。「かわいそうに、ヤツらはアブグレイブ行きだ」。通訳のハリルがつぶやく。そう、この時まさに米軍のファルージャ総攻撃が始まったのだった。戦車が道路をふさぎ、民家の上から銃弾を放つアパッチヘリ。映画のような現実を目の当たりにして、ほうほうの体でバグダッドへ。

日本人が捕まった

その2日後だった。「ニシ、大変だ。日本人が捕まったぞ」。ハリルが慌ててテレビをつける。目隠しをされた3名の日本人が大写しになり、「3日以内に自衛隊を撤退させろ、さもなければこの3人を焼き殺す」。武装勢力が小泉首相(当時)へ要求を突きつける。この後首相が「危険なイラクに勝手に入って捕まった」

岸田内閣。これはもう地震が来ないことを…。絶句する私にお2人が口を揃える。「そう、祈るしかないです。すね」。(次号に続く)



今まさにロケット弾が命中して燃え上がるトラック
米兵2名が戦死した

「あの広場」は取材禁止

2日後の4月9日は「フセイン打倒1周年」だった。フセイン像が倒されたあのフィロドス広場は立ち入り禁止になっていた。1年前は世界中からマスコミが来ていたが、この日に米軍が広場を遮断したことは、ほとんど報道されていない。というかマスコミがいなくなっていた。人質事件を受けて日本のテレビ局、新

「戦争を見てしまったから」だ。写真は今まさにロケット弾が命中して燃え上がるトラック。米兵2名が殺害された瞬間。一方、こちらは米軍が使用したクラスター爆弾の不発弾で右目を失った少年。米軍は劣化ウラン弾を大量に使用した。イラク各地で先天性の奇形児が大量に産まれていた。全てが私の想像を超えていた。なんと理不尽なこと！フリーになつてこうしたことを伝え続けたいと思つた。

フリーになつて取材を続ける

3名の日本人は約10日後に解放され、無事帰国した。私は4月末に帰国したが、「公務員のくせにイラクに行くとは何事」「もし捕まったらどう責任を取る」といった批判に晒され、市役所を辞めてイラクに行き続けるか、イラクを封印して定年まで働くか、の2択を迫られた。04年末に退職し、フリーになった。確かに自己責任論は窮屈で、1つのキツカケではあつた。でも本当の理由は「戦争を見てしまったから」だ。写真は今まさにロケット弾が命中して燃え上がるトラック。米兵2名が殺害された瞬間。一方、こちらは米軍が使用したクラスター爆弾の不発弾で右目を失った少年。米軍は劣化ウラン弾を大量に使用した。イラク各地で先天性の奇形児が大量に産まれていた。全てが私の想像を超えていた。なんと理不尽なこと！フリーになつてこうしたことを伝え続けたいと思つた。

その後紆余曲折があつたがフリーになつて本当によかつたな〜と感じる。ラジオでたくさんの方々と交流できるし、あれ以来アフガン、ウクライナ、シリアなど様々な国へ行くことができた。私の人生を変えたイラク戦争から20年、今またウクライナで劣化ウラン弾が使われようとしている。ロシアはクラスター爆弾をすでに使用しているようだ。還暦を過ぎたが、もう少し現場を踏んでみたいと考えている。



子どもが不発弾で遊ぶので、チャイルドキラ〜とも呼ばれる



フセインの核施設があつた村で。原因は不明

カジノを造らせない闘いは続く

弁護士・文化人・ジャーナリスト・経済人の会で要望書を提出

4月9日投開票の大阪知事・市長選挙はどちらも維新が勝利し、夢洲カジノが作られてしまう可能性が高まっています。しかしまだ決まったわけではありません。4月3日、知事と市長あてに要望書を提出し、その後記者会見しました。以下は要望書の概要です。

(前略) ゴミや浚渫土砂で埋められた夢洲、軟弱地盤に高層ビルを建てようとするれば、約80メートルの杭を数百本も打たねばならない。この費用はおそらく大阪府が負担することになる。夢洲は無人島である。25年の万博に向けて地下鉄を通すが、万博は半年で終わる。カジノは29年の開業予定で4年以上もの間、この地下鉄には誰が乗るのか？ 地盤改良費だけではなく、莫大な周辺整備費もまた大阪府・市の財政を圧迫する。(中略) いったん夢洲カジノが開業すると、業者は35年間の営業権を有する。さらに30年の延長が可能なので、この計画を認めれば末代まで大阪の発展を阻害することになる。

夢洲カジノは百害あって一利なし。私たちは強くこの計画に反対し、即時中止を求めるものである。

- 弁護士 石田法子
- 作家 大垣さなゑ
- 日本城タクシー経営者 坂本篤紀
- 落語家 笑福亭竹林
- フリージャーナリスト 西谷文和
- 絵本作家 長谷川義史
- フリージャーナリスト 矢野宏
- 貧困問題ジャーナリスト 山口美和子
- 作家 若宮健



編集長より

2022年収入の部 (単位:円)

前年度からの繰り越し	1,786,157
募金	6,484,041
合計	8,270,198

2022年支出の部

HP制作・管理	224,400
スタジオ使用料	360,000
番組制作費	6,344,272
合計	6,928,672

来年度へ繰り越し 1,341,526

私の祖父の晩年は大学教授でしたが、今でいう認知症を患いながら、80歳近くまで長生きをしました。その分、義父の介護に明け暮れた私の母の苦勞は壮絶なものであったと思います。生憎当時私は幼く、そのようなことに思い至るようになってからは、随分大人になってからのことでした。

ただ、臍気ながらの記憶があります。あるお正月の朝のことです。言葉を失い、もう排泄も失敗するようになっていた「ボケた」じいちゃんが、洋服ダンスを開け、自分の背広のポケットからお年玉のぼち袋を取り出し、12人の孫に配りはじめたのでした。しかも、ちぐはぐではあったもののちゃんと中身は入

っていました。母に「じいちゃんにこれもらったんだけど」と報告したときの母の驚いた顔を、今でも憶えています。

明治・大正・昭和と生き、戦後は台湾から命からがら引き揚げて来て、裸一貫、新天地に根を降ろして大家族を守ってきた祖父。最後は「恍惚の人」とはなりましたが、まだらに正気に戻るものがあつたのかもしれない。祖父にとって何よりも大切なものが、家族だったとすれば、その象徴がすくすくと育つ孫たちの姿だったのでしょうか。今、思い返せば、ひとのいのちとは、そしてそのつながりとは、なんと愛おしいものなのかと思う記憶です。

先日、私の長男が何とも可愛

2022年度もみなさまからの温かいご支援で番組を継続することができました。岸田内閣が「妖怪の孫の亡霊」に取り憑かれたかのように暴走を始めています。とりわけウクライナ戦争に乗じた軍事費倍増と敵基地攻撃能力の容認、それに伴うアメリカ製ポンコツ兵器の爆買い、さらには老朽化原発の再稼働など、絶対に許すことのできない暴挙が続きましたので、「取り上げるネタ」には不自由しません

でした(苦笑)。そんな岸田戦争内閣の対極にあるとも言える中村哲さん。8月にアフガニスタンに入り、用水路を取材して報道できたことは、私自身の大きな励みになりました。

国政だけではなく大阪維新によるカジノ建設、汚れた東京オリンピック、そんな中での杉並区長選挙勝利など地方自治の話題も取り上げるようにしました。当初は隔週の放送として始めた当番組ですが、ほぼ毎週の番組

制作になり「フーツ、しんどかったな」と、1年を振り返りつつ、みなさんに励まされつつ、放送を継続できたことに感謝しております。

23年度も特定のスポンサーを持たずに、タブーなし、忖度なしのラジオ番組を継続する所存です。引き続きのご支援をよろしく願います。

路上のラジオ事務局
スタツフ一同
西谷文和

らしいお嬢さんを連れてきて、今年結婚したいのだと報告を受けました。この先、つながるいのちがあるとすれば、どうかこの世界が、殺し合う世界でないことを望みます。金や権力を守るために躍起になっている人たちが誤った選択をせぬよう、私はこの確かなカウンタメディアに参加することで、戦っているつもりでいます。

(ディレクター・山本 索)



毎年4月亡母の庭に咲くスノーフレーク

編集後記

手と足をもいだ丸太にしてかへし — 評論家の佐高信さんと反戦川柳作家、鶴彬さんについて対談した。鶴彬さんは特高に捕まって赤痢で亡くなるが、赤痢菌を注射された疑いがあるとのこと。これが真実ならば731部隊が中国人捕虜=マルタに対して行ったことと同じ。私はシリアやイラクで「たくさんの丸太たち」に出会ってきた。おそらく今のウクライナにも。1つの川柳、1枚の写真が情勢を変える時もある。やはり現場が大事やな—と実感。